

【様式 1】

① 食育月間の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	和歌山市
取組市町村名 取組団体・企業名	和歌山市立有功小学校
取組の名称	食育月間
実施時期	6月～
取組内容	<p>(1年生)</p> <p>「はたけのやさいのえをかこう」</p> <p>畑に植えているトマト・ピーマン・なす、さつまいもの成長を観察している。給食で食べている野菜が実になるまで花をつけることや、花が実の色とは違うことなどに気が付き、発表することができた。図工の時間には畑で収穫した野菜の実物を用意し、へたの形の違いや実の部分の形を観察しながら絵の具で絵を描いた。今後は、給食の献立の工夫や調理員さんの苦勞など、給食に関わる学習につなげていきたい。</p> <p>(2年生)</p> <p>生活科の「大きくそだて わたしの野さい」の単元の学習をしている。自分が選んだ野菜（ミニトマト・ナス・ピーマン・ししとう）・本校の「ゆめのうえん」ではサツマイモを植え、生育状態に応じた世話をすることや観察カードを書き続けることを通して野菜を育てる達成感を味わわせている。自分たちで育てた野菜を収穫し食べるまでを体験させることで、子供たちの食への関心や興味を高め感謝の心を持ちながら食べる喜びにつなげることができたと思う。</p> <p>(3年生)</p> <p>「大豆を育てよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大豆の種をまき、どのような育ち方をするか観察している。 ・大豆についての課題をみつけ、それについて調べる。 ・調べたことをまとめ、発表する。 <p>(4年生)</p> <p>「和歌山県の特産物について」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和歌山県には豊かな食べ物の特産物がたくさんあることを知る。 ・給食ではどんな特産物が出るか、また、なぜ給食で和歌山県の特産物がよく出るか考える。 ・特にうめを取り上げ、うめジュースを作る。

(5年生)

「バケツで稲を育てよう」

総合的な学習の中で、種もみから稲を育てる取り組みを始めた。教室で芽出しまで行い、バケツに畑の土を入れて植えた。ビニル袋などで雀から守りつつ育てている。

(6年生)

「郷土料理について」

- ・和歌山県の食べ継がれてきた郷土料理のよさを知る。
- ・和歌山県の食材、料理に関心を持ち、郷土の新たな発見をする。
- ・自然の恵みや生産者への感謝の気持ちや食べ物を大切にしようとする気持ちを持つ。